「私はしない、させない」
東郷コミュニティが飲酒運転撲滅を宣言

跡を絶たない飲酒運転。「明日は我が身にならないように」と、東郷地区コミュニティ運営協議会が9月25日、市役所で交通安全教室を開催。同地区区長会の長谷川和弘会長が谷井博美市長に「飲酒運転撲滅運動」の宣言書を手渡しました。

宣言書は「私たちは約束します。飲んだら絶対に運転しません。飲んだ人には運転させません。飲む時には車を置いて行きます。飲む前に車を置いて行かせます。車のキーを預かり、飲ませます。飲ませた時はキーを取上げます。少し位の気持ちを持ちません（原文）」というものです。

宣言書には、東郷地区のほとんどのドライバーが自筆で署名したものを添付。「私は飲酒運転をしない。家族にもさせない。知人にもさせない」という強い決意が込められています。

谷井市長は「飲酒運転ゼロのまちへ市民運動として展開し、悲惨な飲酒事故の実態を訴えたい」と応えました。

宗像警察署によると、高齢者の交通事故に占める割合が年々増加。特に薄暮や夜間、歩行者の事故が多いそうです。また、案外、自転車なら大丈夫と思いがちですが、自転車の飲酒運転も一般車両と同じ罰則です。「交通ルールをしっかり守って運転しましょう」。有意義な交通安全の講話に、大勢の住民がうなずいていました。

市役所の正面玄関前には白バイとパトカーが展示され、試乗することもできました。「わっ、すごい！　白バイやパトカーのお世話にならないように、安全運転を心がけます。福祉会の仲間にも勉強したことを話してあげたい」。水上クニヨさん（60歳代）は、飲酒運転撲滅への心構えを話していました。

谷井市長（左）に宣言書を手渡す長谷川会長

まちかどトピックス TOPICS

同協議会の役員と谷井市長をはじめ市職員ら約50人が10月11日、同コミセンに集まり、飲酒運転の撲滅策について話し合いました。

「飲酒運転撲滅の署名をしたが、これで終わらせてはいけない。撲滅に向けて、商工会や企業の理解と協力を強く要望しよう」「例えば、子ども会で飲酒運転について話し合い、家族の会話で撲滅を進めよう」「飲食店の協力を得て、飲酒運転撲滅のステッカーを張ってもらおう」などの意見が出ました。

それに対して市側は「宗像警察署とも連携し、安全なまちづくりのために飲酒運転撲滅を進めていきたい。みなさんの意見を参考に、市内全域で撲滅運動を徹底したい。具体的な方法は、今後も協議を重ねて、撲滅運動の徹底を図っていきたい」と姿勢を示しました。

（市民記者・原きよし）

■問い合わせ先　同協議会　☎（36）7711

白バイに試乗する水上さん

がんばれ！福岡サニックスブルース

第5節は地元開催、応援をお願いします

●日　　時　12月4日(日)13:00キックオフ
●場　　所　グローバルアリーナ
●対戦相手　ヤマハ発動機ジュビロ
＊赤間駅とグローバルアリーナ間で無料シャトルバスを運行

藤井雄一郎監督

【藤井雄一郎監督からのメッセージ】

地元グローバルアリーナでの試合には、とにかく勝って、昨年以上に、応援してくれる地元ファンのみなさんに喜んでいただきたいと思います。たくさんの声援をよろしくお願いします。

応援バスツアー参加者募集

【バスツアーA】
●日　　時　12月18日(日)13:00キックオフ
●場　　所　宮崎県総合運動公園陸上競技場
●対戦相手　パナソニックワイルドナイツ
●集合・出発時間　▽宗像市役所正面玄関前＝7:00
▽博多駅筑紫口・ローソン前＝8:00
●参 加 料　1人3,000円（弁当付き）
＊未就学児は無料、ただし弁当が必要な場合は500円
●申込締切日　12月13日(火)

【バスツアーB】
●日　　時　12月24日(土)14:00キックオフ
●場　　所　レベルファイブスタジアム（福岡市博多区）
●対戦相手　近鉄ライナーズ
●集合・出発時間　宗像市役所正面玄関前＝12:00
●参 加 料　1人1,000円　＊未就学児は無料
●申込締切日　12月20日(火)

【A・B共通事項】
●定　　員　先着各60人
＊「一般自由席観戦チケット」を進呈
●申込方法　各申込締切日必着で、参加者全員の①住所②氏名③年齢④電話番号⑤バスツアー名（AかB）を明記して、市民活動推進課へ次のいずれかの方法で申し込む
▽FAX(36)0270
▽メール katudou@city.munakata.fukuoka.jp
■問い合わせ先　市民活動推進課　☎(36)1540

島だより 大島

大島の海で充実した1日

親子ファミリー釣り大会＆クリーンアップ事業

うみんぐ大島で9月18日、親子ファミリー釣り大会と大島クリーンアップ事業を開催しました。このイベントは、うみんぐ大島の運営を支援する33の民間企業や団体で組織し、施設のPRや技術的な指導・運営を支援する「うみんぐ大島釣り施設支援協議会」と元気な島づくり事業推進協議会が主催したものです。

4月にオープンしたうみんぐ大島で初めてのイベントとなった釣り大会には、県内外から約150人の家族連れが参加。チヌ、マダイ、クロ、バリ、アラカブ、アジ、イカ、雑魚の全8部門で大物を狙って腕を競いました。

チヌ部門では、50.2cmの大物を釣った高見悠希さん（芦屋町）が優勝。雑魚の部では、上位からヒラメ35.5cm、フエフキダイ23.2cm、ベラ19.4cmを釣った参加者がそれぞれ表彰されました。

一方、大島港周辺では、大島クリーンアップ事業として海底清掃が実施されました。海底清掃は平成21年から毎年、財団法人日本釣振興会の全面的な支援で開催しています。今年は、ボランティアのダイバー15人が参加。海底にあった釣りざおやビン、缶などを引き揚げました。釣り大会の参加者も、うみんぐ大島の釣り場を清掃。大島クリーンアップに貢献しました。

その後は、参加者とダイバーらが一緒になってプレジャーボートステーションからカサゴの稚魚を約8,000匹放流しました。

その他にも、うみんぐ大島のイメージガール・秋丸美穂さんと日本釣振興会フィッシング・アンバサダーの児島玲子さんのトークショーや、魚さばき教室などが開かれ、参加者たちは大島で充実した1日を過ごしました。

チヌの部で優勝した高見さん（右）

海底のごみを引き揚げたダイバーのみなさん

みんなでカサゴの稚魚8,000匹を放流しました

■問い合わせ先　地域活性化推進室　☎(36)1725

やってみよう　笑顔ですごす　毎日を（中村　海（かい）・日の里西小5年）
友達は　みんなえがおが　一番だ（中尾明日香・自由ヶ丘南小4年）
一人の幸せは　みんなの幸せ（高嶋　葵・南郷小4年）
見つけよう　やさしい心　すぐそばに（井上大雅（たいが）・赤間西小4年）